

部屋別お掃除テクニック

ここでは家の水周りを中心に、場所ごとのお掃除テクニックをご紹介します。ご家庭にある身近なものを使って簡単に実践できるので、ぜひお試しください。

コンロ

元栓を閉め、五徳や受け皿など外せるものは外します。洗剤を溶かしたぬるま湯に5～10分浸け置きすると、汚れが浮きやすくなります。

漬け置きするときは、ポリ袋やタオルを敷くと漬け置きの容器に傷がつきにくいですよ。



お風呂場

汚れている箇所にティッシュを貼り付け、その上から洗剤をスプレーします。5～10分置くと汚れが浮きやすくなります。

浴槽の残り湯に洗剤を混ぜると、一度にたくさんのもを漬け置きできますよ。



レンジフード

フードはぬるま湯につけた布で拭き、フィルターはぬるま湯と洗剤を使って歯ブラシで洗います。

フィルターを漬け置きをする際、素材によっては塗装がはがれる可能性があるため注意してください。



水垢

蛇口等の水垢は、歯ブラシや使わなくなったストッキングを使えば布が届かないところもきれいにできます。

クレンザーを使う際は傷がつかないように、力の入れ方に注意してください。



畳

酢水(水5:酢1)を作り、きれいな布に含ませて固く絞って拭くと黄ばみも取れてきれいになります。その後、水拭き、から拭きをします。

畳が水に濡れるとカビやダニの発生の原因となります。水分が残らないようにしっかり拭き取りましょう。



ステップアップ!大掃除

元号が平成から令和に変わった2019年もあと1か月。気づけば大掃除の時期がやってきました。今号では、「掃除」「分別」「処理」の3つのステップに分けて、大掃除に役立つ情報をお届けします。今年はずっと少し違った大掃除にトライしてみませんか。

これがあれば役に立つ!



▲白山さんが使う道具の一部

大掃除の三原則

1. 早い時期に始める
年末は急に寒くなることもあり、さらに天気が崩れる心配もあります。外や湿度が多い箇所での作業は、掃除がしにくかったり、できなかつたりすることもあるかもしれません。余裕のある計画を立て、早めにとりかかるとが大切です。
2. 自分にあった方法で
掃除の方法は決して一つだけではありません。最近では便利なお掃除用品も数多く販売されていますが、必ずしも自分のやり方にあつたものとは限りません。自分に最も合った方法で掃除を行うようにしましょう。
3. 安全に掃除を行う
大掃除のときは、普段手の届かない場所まできれいにしようとするので、脚立から誤って転落するなど、けがをする人も多いためです。決して無理はせず、自分のできる範囲で掃除をしましょう。



大掃除のポイント!

「おそうじのプロに聞きました」
掃除をしていて「汚れが落ちない」「手が届かない」という経験はありませんか。そんな悩みの解決策を掃除のプロに聞いてみました。掃除のやり方に困っていたところなどで、ぜひ試してみてくださいはいかがでしょうか。

大掃除の豆知識

知っておきたい大掃除の歴史

大掃除の由来は、「煤払い」だといわれています。煤払いは平安時代の宮中で始まったとされる神事。庶民にこの風習が根付いたのは江戸時代だといわれています。現在でも神社仏閣などでは毎年行われていて、葉のついた竹でほこりを取る様子は年末になると見られます。
やり方は変われど、昔から続いてきた大掃除。掃除に励む先人たちの姿に思いを巡らせてみませんか。

大掃除のひと工夫

体調を崩さないように
カビ取り洗剤等の臭いが強いものを使っていると、体調を崩す場合があります。サーキュレーターを使ってしっかり換気をしましょう。扇風機でも代用できます。

液体を使うときに

水周りや洗剤を使う場合は、手袋の裾を曲げると液体が垂れにくくなります。

コスト削減・時間短縮のために

使わなくなったTシャツやタオルなどを、あらかじめ雑巾として使うために小さく切っておくと、使いやすさで捨てられるので掃除の時間短縮になります。



おそうじ工房 鹿屋店
しんやま けいたろう
白山 慶太郎さん

平成17年に開業以来、主に一般家庭のハウスクリーニング業務を行う。年間約600件の依頼を受けて、清掃を行っている。